

このままでええの!!日本と世界

10.21

反戦共同行動

in京都

[www.kyotohansen.org](http://www.kyotohansen.org)

日時 2007年10月21日(日) 雨天決行  
会場 円山公園野外音楽堂  
開始 13:00 (11:40から反戦ライブイベント)  
終了 16:30  
デモ 集会終了後すぐスタート  
(円山公園→四条通→河原町通り→京都市役所前・解散)

国会報告(山内徳信参議院議員・社民党)

集会中ライブ(パンタ・まーちゃんバンド・趙博・友部正人)

講演(雨宮処凛・岡真理) 沖縄から(安次富浩)

加害の歴史をかくすな

侵略戦争の道をひらく憲法改悪を許さない

イラクから米軍と自衛隊は撤退せよ、テロ特措法反対

沖縄・韓国・日本国内の米軍再編反対

格差社会を打ち破り、人らしく生きられる世界を

あらゆる差別に反対し、人権を確立せよ

子どもたちに未来を、教育の国家統制反対

円山野音へ  
行こう!

10・21反戦共同行動実行委員会

(代表世話人 仲尾宏 千葉宣義 田川晴信 工藤美彌子 米澤鐵志 新開純也 瀧川順朗 高橋幸子 府上征三)

連絡先 Tel/Fax:0774-23-2908 実行委:090-5882-2111(田川) 事務局:090-5166-1251(寺田)

カンパ振込先 郵便振替口座:00910-3-280423 加入者名:「10・21反戦共同行動実行委員会」

E-mail [10.21hansen@gmail.com](mailto:10.21hansen@gmail.com) HP: <http://www.kyotohansen.org>

## 10・21 反戦共同行動 in 京都への賛同と参加の呼びかけ

21 世紀に入って、時代は大きく変貌しはじめています。「グローバリズム」と言われる際限のない資本の利潤追求と市場の獲得、地球資源の略奪は目をおおうばかりにすさまじさを増しています。イラクやパレスチナをはじめとする中東地域への侵略と殺りくはとどまるところを知らず、アメリカを軸とする強国の論理が地球規模でまかり通っています。

日本はそんな強国の主張に組みして、海外派兵を容易に日常的に行うことが出来るようにするために、憲法九条改悪が政府・与党の公然たる政治日程にのぼっています。他方、労働現場での格差社会、人権を無視した管理社会の強化、教育現場での「愛国心」の強要さらに社会的弱者にのしかかる増税と負担の増加が日増しに進行しています。

私たちは、この日本社会で生きていくために、人間の尊厳を守り抜くため、今の状況を根底から変えていく必要があると考えます。若者にも、老人にも、そして子どもたちの未来のためにも一人が人として生きるため、希望と信頼を取り戻すことが必要です。

10 月 21 日には、円山野外音楽堂を埋め尽くし、連帯の輪を京都の地で結び合いませんか。四条通から河原町通を熱いデモで行進しよう。一人でも多くの人に声をかけてください。一人でも多くの方が参加してください。

人間の未来のために、光ある社会にするために！

《賛同人》 浅井桐子、味岡理一、飛鳥井けい子、天野博、荒井康裕、井上加代子、池内光宏、池田浩士、磯江みづえ、伊藤淳平、稲村守、李美葉、岩田吾郎、岩津雅典、上原敦男、鶴飼哲、牛尾国彦、後義輝、卜部昌則、江口慶明、江原護、大川健二、大須賀護、大浜冬樹、大森昌也、大湾宗則、大管新、岡田雅憲、小川登、落合祥亮、越智洋三、甲斐布扶義、兼光雅宏、川島繁夫、川嶋澄夫、河村栄三、川村賢市、河村宗治郎、北里秀郎、北村信隆、木下昌朗、金千代、草刈孝昭、楠敏雄、工藤美彌子、黒木建、黒田伊彦、結柴誠一、巖本明夫、児玉利春、小武正教、小地政司、額厚、小林圭二、駒井高之、駒見俊道、小山敏夫、ゴードン・ムアンギ、紺谷延子、斉藤真、酒井満、佐藤大、佐々木佳継、渋谷要、嶋川まき子、清水明美、清水義昭、徐龍達、白井美喜子、新開純也、新谷純一郎、末本雛子、須田稔、関俊子、高桑次郎、高鋏多恵子、高瀬元通、高橋幸子、田川明子、田川晴信、瀧川順朗、武市常雄、竹内正三、竹内宙、竹林伸幸、橘睦子、田中啓司、田中宏、谷川正幸、多比良建夫、田村博一、崔忠植、知花昌一、千葉宣義、塚本泰史、鶴見俊輔、鄭早苗、寺田道男、戸梶博夫、徳田隆、土本顕、永井美由紀、仲尾宏、永岡浩一、中河由希夫、中北龍太郎、中嶋慎介、長田侃士、中田光信、中村在男、西浦隆男、西方淳子、西浜楢和、蜷川泰司、野坂昭生、野田雄一、朴実、橋野高明、橋本利昭、服部良一、早川義輝、原田恵子、土方克彦、菱木康夫、日高六郎、広尾喜代志、府上征三、福山義和、藤井悦子、藤井健一、藤原史朗、二葉晃光、古川鐘二、古橋雅夫、裏梨花、堀清明、堀義明、堀井千恵子、本田克己、前川静雄、前田裕悟、蒔田直子、牧野一樹、増野徹、増本俊幸、松尾哲郎、松岡利康、松本 修、水谷昂一、水野裕之、松野尾かおる、松村尚洋、松村美会子、南建、宮地洋二、宮路烈、宮本崇義、持原好子、物江克男、森本忠紀、柳田健、山田実、山本純、山本猛、山本徳二、山本将嗣、横山美樹、吉岡史朗、吉田信吾、吉田宗弘、米澤鐵志、六島純雄、渡邊琢、渡辺亜人

《賛同団体》 アジア共同行動・京都、アジェンダ・プロジェクト、NPO法人京都コリアン生活センター、大阪A&U、沖縄とともに基地撤去をめざす関西連絡会、関西共同行動、関西合同労働組合、京都「天皇制を問う」講座実行委員会、京都府教職員組合(きょうと教組)、九条旨酒の会、9条改憲阻止の会・関西、ぐるーぷちゃんぷるー、支え合う弱者の会・兵庫、消費者経済研究所、自立労働組合連合、東西本願寺を結ぶ非戦・平和共同行動実行委員会、とめよう戦争への道！百万人署名運動・関西連絡会、日本基督教団京都教区「教会と社会」特設委員会、日朝友好促進京都婦人会議、反戦反天皇制労働者ネットワーク、反戦老人クラブ京都、ふえみん婦人民主クラブ・京都洛友支部、平和憲法の会・京都、平和の会・宇治、辺野古に基地を絶対につくらせない大阪行動、星野文昭さんを取り戻す会・京滋、郵政人事交流＝強制配転に反対する近畿郵政労働者の会、梨花舞踊学院・リファダンスアリアン

《賛同店》 あーす書房、おてらハウス、呉服屋南商店、新羅、八文字屋、ほんやら洞、まほろば、彌光庵、論楽社、ベジタリアンダイニングCAFE PEACE

(10月2日現在、174 賛同人、28 団体、10 店)

このままでええの！！ 日本と世界

# 10・21 反戦共同行動 in 京都

2007年10月21日(日)  
13:00(11:40から反戦ライブ)  
円山野外音楽堂

## 【プログラム】

- 11:20 開場プレ「反戦ライブ」
- 12:55 開会挨拶(司会者:千葉宣義・工藤美彌子)
- 13:00 主催者挨拶(仲尾宏)
- 13:10 演奏・友部正人さん
- 13:35 演奏・パンタさん
- 14:05 講演 岡真理さん「私とパレスチナ」
- 14:25 講演 雨宮処凛さん「生きさせろ、こんな日本は変えよう」  
インタビュー:服部恭子さん(洛南ユニオン書記長)
- 14:45 カンパアピール(田川晴信)
- 14:50 沖縄民謡・エイサー まーちゃんバンド
- 15:20 国会報告 山内徳信・国会議員《辻元清美》
- 15:30 沖縄からアピール 安次富浩さん「辺野古に米軍基地はいらない」
- 15:45 連帯あいさつ
- ①在日から 玄順任さん(無年金訴訟原告団長)
  - ②ウトロから 田川明子さん(ウトロを守る会)
  - ③教育現場から 蒔田直子さん(「心の教育」はいらない!市民会議)
  - ④反原発から 小林圭二さん
  - ⑤東京から 蔵田計成さん
  - ⑥京都から 瀧川順朗さん(アジア共同行動・京都)
- 16:15 演奏・趙博さん
- 16:25 集会宣言(山本純)
- 16:30 行動提起(寺田道男)
- 16:35 インターナショナル(指揮・趙博)
- 16:40 デモ出発(円山公園～四条通～河原町通～京都市役所前・解散)

主催:10・21反戦共同行動実行委員会

## 集会宣言(案)

すべての抑圧され、苦悩する仲間たち！アメリカ・ブッシュ政権による新自由主義グローバル化と侵略戦争によって、どれだけ多くの人々が飢えと貧困・無権利に苦しんできたことでしょうか。また、イラクやアフガニスタンやパレスチナなどで、自らとその愛する者の命を奪われてきたことでしょうか。しかし、いま全世界において反米抵抗運動が高まり、中南米では次々と反米左派政権が誕生してきました。東アジアにおいても、二度目の朝鮮半島南北の首脳会談が開催されるなど、朝鮮戦争以来の戦争状態を終結させ、朝鮮半島南北の自主的平和統一に向かおうとするうねりが生みだされてきました。沖縄においても9月29日、沖縄戦での日本軍による「集団自決」強制の事実の教科書からの削除に抗議して、11万5000人が結集する県民大会が開催されました。これらの民衆のたたかいのなかには、「市場原理」にもとづく現在の社会を根本的に変革し、この地上から戦争を根絶し、人が人らしく生きられる新しい世界をつくりだしていきたいという願いがこめられています。そして、私たちがまたこのような世界の民衆と海を越えて結びつき、ともに未来への希望をつくりだすためにこの集会を開催したのです。

いま日本の社会と政治もまた、激動の時代を迎えつつあります。小泉・安倍と続いた自公政権は、日本の多国籍資本の利害を代表して米軍再編―日米同盟を推進し、教育基本法改悪と憲法改悪の推進をもって日本を本格的な侵略戦争を発動できる戦争国家へとつくりかえようとした。そして、新自由主義政策をもって、労働者に賃金・労働条件の切り下げと失業・非正規雇用を強制し、増税・社会保障の切り捨てなどによって生存権すら脅かされるような事態を拡大してきました。参議院選挙における自民党の歴史的惨敗と安倍政権の崩壊は、このような事態に対する民衆の反発と怒りがもたらしたものでした。しかし、新たに成立した福田政権もまた、小泉政権や安倍政権と何ら変わることはない反動的な政権です。御手洗日本経団連会長などが福田政権に要求していることは、引きつづき新自由主義政策を推進し、米軍再編―日米同盟の強化と憲法改悪をもって戦争国家への道をおし進めることなのです。福田政権もまた民衆のたたかいによって打倒されねばならない政権です。私たちは、かつてのアジア植民地支配と侵略戦争の歴史の歪曲、正当化を許しません。すべての被害者に対する国家としての謝罪と補償を要求し、再びのアジアへの侵略戦争を阻止し、アジア民衆とともに生きる道へと進んでいきます。格差ではなく平等を要求し、競争ではなく連帯と共生にもとづいた人らしく生きられる社会をめざしていきます。いま、民衆の反発と怒りが高まる一方で、現在の社会に深く絶望する青年たちの中から「希望は戦争」という意見すら生みだされてきています。しかし、戦争のなかに希望など断じてありはしません。希望はただ、この社会を根本的に変革しようとするたたかいのなかに、ともにたたかう仲間の連帯と団結の中にこそあるのです。

この秋、インド洋への海上自衛隊の派兵を継続するための「テロ対策新法」の制定を阻止し、イラク・アフガニスタンからの自衛隊の撤退を実現するためにたたかきましょう。沖縄・岩国・神奈川などのたたかいに連帯し、米軍再編―基地強化を阻止しましょう。これらのたたかいを通して日米同盟と対決し、アジアからの米軍総撤収をアジア民衆とともに実現しようではありませんか。また、憲法改悪を阻止するたたかいを全力で推進していきましょう。憲法九条は、再びアジアへの侵略戦争を行わないというアジア民衆への誓約でした。この誓約を踏みにじり、アジア―全世界への侵略戦争の道をはらく憲法改悪を絶対に許すことはできません。衆参両院の憲法審査会の廃止を要求し、解釈改憲による集団的自衛権行使の合憲化を阻止しましょう。私たちは、沖縄戦での日本軍による「集団自決」強制の事実の教科書からの削除を許しません。改悪教育基本法の具体化を許さず、教育への国家統制の強化に反対し、子どもたちの未来のためにたたかきましょう。

来年、7月上旬には洞爺湖でサミット首脳会議が開催され、この京都では6月下旬に外相会議が開催されます。私たちは、新自由主義グローバル化と侵略戦争を推進するためのサミット首脳会議・外相会議に反対します。私たちのたたかいは、決して今日一日で終わるものではありません。今日の集会を新たな出発点として、来年に向けて共同のたたかいをさらに大きくおし広げていきましょう。

## 10・21反戦共同行動をなぜ提起するか。

21世紀に入って時代は大きく変貌しつつある。「グローバリズム」と言われる際限のない資本の利潤追求と市場獲得、地球資源の略奪は目をおおつばかりである。イラクやパレスチナをはじめとする中東地域への侵略と殺りくはとどまるところを知らず、アメリカを軸とする強国の論理がまかりとおっている。資本主義は歴史の教訓をあざ笑うかの如く、再び粗暴な本性をあらわにして人びとに襲いかかっている。歴史の教訓といえ、あの恐るべき惨禍をもたらした、アジアの2000万人以上の人びとの命を奪った日本国家はその加害の歴史を反省することなく、再び戦争と人権抑圧の道を歩もうとしている。

憲法9条の危機とは、単に戦後日本の平和を至上とした理念が崩れるにとどまらず、アジア・アフリカなどの民衆に対する差別と蔑視観とともに、海外派兵を平気でできる国家に変身することである。テロ特措法や憲法審査会の設置はその具体的な第1歩である。防衛庁の省昇格はいうまでもない。戦前の「大日本帝国」の復活がとみまがうばかりの強大な軍事力と交戦権を備えた国家が、その姿をあらわしはじめている。国内では改憲教育基本法のもとでの「愛国心」の強要、教員の管理体制の強化が強権的に進められている。同時に若者の低賃金・無権利状態が放置され、社会的弱者である高齢者や障害をもつ人びとの福祉政策が切り捨てられつつある。さらに増税と高負担、大資本の進出による地方や農村の生活基盤の破壊が進みつつある。

私たちはこのような日本と世界のありようを根本的に変え、この日本社会で、すべての人びとの尊厳を守り抜くための行動のときが来ている、と考える。政府や支配政党のその場しのぎの政策ではすまされない。社会総体の危機を根底から変えなければならない。

今、ここで声をあげ、連帯の輪で一人ひとりの思いを力に変える運動をつくりあげねばならない。若者にも、老人にも、そして子どもたちの未来のためにも、人が人として生きるための希望と信頼をもたらすための行動が必要である。

人間の未来のために、光ある社会にするために……

10・21には円山野外音楽堂を埋め尽くし、四条河原町を熱いデモでうずめよう。

### ★私たちのスローガン

私たちは、下記のスローガンのもとに結集し、10・21のかつての国際反戦デーを出発点として、京都、関西、いや日本全土に連帯の輪をつくり、歴代の日本政府や支配政党がとってきた政治に対して、市民の立場に立って、命を大切にす社会、人らしく生きてゆける日本と世界を築くための新しい政治潮流を創りだそう、と構想しています。

- \* アジア民衆に対する過去の日本の加害の歴史をかくすな！
- \* 日本軍による沖縄の「自決」命令を、教科書から削除する策動を許すな！
- \* 侵略戦争への道を開く憲法9条改悪を許さない。憲法審査会粉碎！
- \* イラクから米軍と自衛隊は撤退せよ、テロ特措法の新しい存続を許すな！
- \* 沖縄・韓国・日本国内の米軍再編強化反対、辺野古の新基地建設粉碎！
- \* 格差社会を打ち破り、人らしく生きられる労働現場と地域の再生を！
- \* あらゆる差別に反対し、人権と多文化共生社会を確立せよ！
- \* 子どもたちに未来を、教育の国家統制反対！
- \* すべての国の核兵器を廃絶し、原発を廃止せよ！
- \* 核武装に直結する高速増殖炉「もんじゅ」の運転再開を許すな！

## 10・21反戦共同行動 in 京都 スローガン(案)

アジア民衆への加害の歴史をかくすな！

植民地支配と侵略戦争の歴史の歪曲、正当化を許さない！

すべての被害者への国家としての謝罪と補償をおこなえ！

日本軍「性奴隷」問題の教科書からの削除を許さない！

朝鮮民主主義人民共和国への制裁を撤廃せよ！日朝国交正常化をおこなえ！

侵略戦争の道をひらく憲法改悪反対！

憲法九条改悪を阻止しよう！

憲法審査会を廃止せよ！ 集団的自衛権の行使を許さない！

政教分離を踏みにじる憲法 20 条改悪反対！

戦争への総動員ねらう「国民保護訓練」反対！

イラク・アフガニスタンから米軍と自衛隊は撤退せよ！「テロ対策新法」制定を許さない！

海上自衛隊のインド洋での給油活動をただちに中止せよ！

米軍によるイラク侵略戦争・軍事占領に加担するな！

沖縄・韓国・日本国内での米軍再編反対！沖縄・日本からすべての米軍基地を撤去せよ！

戦争のための日米同盟の強化を許さない！

辺野古新基地建設反対！ 普天間基地をただちに撤去せよ！ 高江ヘリパッド建設を許さない！

岩国・座間などの米軍基地強化反対！横須賀への原子力空母配備を許さない！

日本の核武装反対！ 核武装に直結する高速増殖炉「もんじゅ」の運転再開を許すな！すべての原発を廃棄せよ！

格差社会を打ち破り、人間らしく生きられる世界を！

すべての労働者に仕事と生活できる賃金を保障せよ！最低賃金を大幅に引きあげろ！

労働条件・賃金切り下げを許さない！「民営化」攻撃反対！

非正規雇用労働者・女性への均等待遇を実現せよ！

野宿者への排除攻撃を許さない！生きる権利を保障せよ！

闘う国労闘争団に連帯し、国鉄闘争に勝利しよう！すべての争議に勝利しよう！

増税と社会保障・社会福祉の切り捨てを許さない！生活保護政策を確立せよ！

あらゆる差別に反対し、人権を確立せよ！

在日コリアンへの人権侵害を許さない！朝鮮総聯への政治弾圧反対！

部落差別を許さない！

障害者の生きる権利を奪う「障害者自立支援法」を廃止せよ！

女性への差別と性暴力を許さない！

子どもたちに未来を！教育の国家統制反対！

改悪教育基本法の具体化を許さない！

日の丸・君が代の強制反対！すべての処分を撤回せよ！

沖縄戦での日本軍による「集団自決」強制の教科書からの削除を許さない！

治安弾圧反対！天皇制の賛美を許さない！

共謀罪新設阻止！あらゆる治安弾圧の強化に反対しよう！

靖国神社による侵略戦争と天皇制の賛美を許さない！首相の靖国参拝反対！

新自由主義グローバルゼーションと侵略戦争を許さない！洞爺湖サミット・京都外相会議反対！

## 「10・21 反戦共同行動 in京都」への賛同人、賛同団体、賛同店

《賛同人》 赤川祥夫、浅井桐子、味岡理一、飛鳥井けい子、天野博、荒井康裕、井上加代子、池内光宏、池田浩士、磯江みづえ、伊藤淳平、稲村守、李美葉、岩田吾郎、岩津雅典、上原敦男、鶴飼哲、牛尾国彦、後義輝、ト部昌則、江口慶明、江原護、大川健二、大須賀護、大浜冬樹、大森昌也、大湾宗則、大管新、岡田雅憲、小川登、落合祥亮、越智洋三、甲斐布扶義、兼光雅宏、川島繁夫、川嶋澄夫、河村栄三、川村賢市、河村宗治郎、北里秀郎、北村信隆、木下昌朗、金千代、草刈孝昭、楠敏雄、工藤美彌子、黒木建、黒田伊彦、結柴誠一、巖本明夫、児玉利春、小武正教、瀬藤厚、小西泰弘、小林圭二、駒井高之、駒見俊道、小山敏夫、ゴードン・ムアンギ、紺谷延子、斉藤真、酒井満、佐藤大、佐々木佳継、渋谷要、嶋川まき子、清水明美、清水義昭、徐龍達、白井美喜子、新開純也、新谷純一郎、末本雛子、須田稔、関俊子、高桑次郎、高嶽多恵子、高崎庄二、高瀬元通、高橋幸子、高橋秀典、高藪繁子、田川明子、田川晴信、瀧川順朗、武市常雄、竹内正三、竹内宙、竹田雅博、竹林伸幸、橋睦子、田中啓司、田中宏、谷川正幸、多比良建夫、田村博一、崔忠植、崔孝行、知花昌一、千葉宣義、塚本誠一、塚本泰史、鶴見俊輔、鄭早苗、寺田道男、戸梶博夫、徳田隆、土本頭、永井美由紀、仲尾宏、永岡浩一、中河由希夫、中北龍太郎、中嶋慎介、永島靖久、長田侃士、中田光信、中村在男、西浦隆男、西岡智、西方淳子、西浜檜和、蜷川泰司、野坂昭生、野田雄一、朴実、橋野高明、橋本利昭、服部良一、早川義輝、原田恵子、土方克彦、菱木康夫、日高六郎、広尾喜代志、府上征三、福山義和、藤井悦子、藤井健一、藤原史朗、二葉晃光、古川鐘二、古橋雅夫、裴梨花、堀清明、堀義明、堀井千恵子、本田克己、前川静雄、前田裕悟、蒔田直子、牧野一樹、増野徹、増本俊幸、松尾哲郎、松岡利康、松本修、水谷焔一、水野裕之、松野尾かおる、松川敦、松川洋裕、松崎吾郎、松田素二、松村尚洋、松村美会子、溝田彰、南勝次郎、南建、宮地洋二、宮路烈、宮本崇義、村上正和、持原好子、物江克男、森原秀樹、森本忠紀、柳田健、山地政司、山田実、山本純、山本猛、山本徳二、山本将嗣、横山美樹、吉岡史朗、吉田信吾、吉田宗弘、米澤鐵志、六島純雄、和田喜太郎、渡邊琢、渡辺亜人

《賛同団体》 アジア共同行動・京都、アジェンダ・プロジェクト、NPO法人京都コリアン生活センター、大阪A&U、沖縄とともに基地撤去をめざす関西連絡会、関西共同行動、関西合同労働組合、京都「天皇制を問う」講座実行委員会、京都府教職員組合(きょうと教組)、九条旨酒の会、9条改憲阻止の会・関西、旧友会(60-70 年安保京都高校生運動)、ぐるーぷちゃんぷるー、在日韓国・朝鮮人高齢者の年金訴訟を支える会、支え合う弱者の会・兵庫、消費者経済研究所、自立労働組合連合、タウンミーティング訴訟を支える会、高槻医療福祉労働組合、東西本願寺を結ぶ非戦・平和共同行動実行委員会、とめよう戦争への道！百万人署名運動・関西連絡会、とめよう戦争への道！百万人署名運動滋賀県連絡会、日本基督教団京都教区「教会と社会」特設委員会、日朝友好促進京都婦人会議、反戦反天皇制労働者ネットワーク、反戦老人クラブ京都、兵庫県被災者連絡会、ふえみん婦人民主クラブ・京都洛友支部、百万人署名運動兵庫県連絡会、平和憲法の会・京都、平和の会・宇治、辺野古に基地を絶対につくらせない大阪行動、辺野古に基地はいらない滋賀行動、Peace Media、星野文昭さんを取り戻す会・京滋、郵政人事交流＝強制配転に反対する近畿郵政労働者の会、梨花舞踊学院・リファダンスアリラン

《賛同店》 あーす書房、おてらハウス、キッチン・ハリーナ、呉服屋南商店、新羅、八文字屋、ほんやら洞、まほろば、彌光庵、論楽社、ベジタリアンダイニングCAFE PEACE

(10月18日現在・順不同、193 賛同人、37 賛同団体、11 賛同店)

\*なお、上記以外にも公表はできない多くの賛同人・賛同団体を得ていることを記しておきます。